



夢追い人

福岡県産業デザイン協議会・福岡県が主催する福岡県産業デザイン賞で、大川ライフデザイン研究所(OLDグループ…大川地域11社で構成される)と福岡のデザイングループとのコラボレーションで開発した製品が大賞を受賞した。昨年11月のこと。商品名は「LIFE-D」。OLDのメンバーである、阿津坂芳徳さんと鐘ヶ江洋一さんにお話を伺った。



鐘ヶ江洋一さん

阿津坂芳徳さん



OLD
okawa life designing

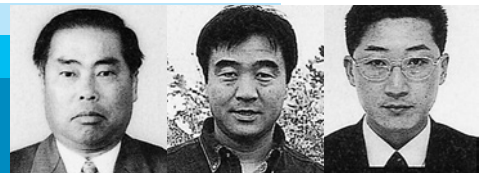
大川ライフデザイン研究所

- (株)カグロックス
- (有)阿津坂商事
- (株)大川鉄工
- (株)オカキファニチャー
- (株)家具の大丸
- (有)貞苅産業
- 末次装工材(株)
- (有)松崎木工
- マルセイリビング(株)
- 森崎工芸(株)
- レグナテック(株)

大賞を受賞した「LIFE-D」は、生活者に立脚したソフトデザインの視点、地域内企業間、デザインプロジェクトチームとの異分野コラボレーションによる家具開発への取り組みが高く評価された。

ソフトデザイン面については、日本人の暮らし方にフレキシブルに対応させる機能性と快適なぬくもりと優しさを感じ取れる造形が表現されている。それについて鐘ヶ江さんは「最近報道されるニュースを見ると、家庭内暴力や若者の非行等の事件が多く、それは家族の絆が希薄になっていることを示していると思います。それだけに家族の団欒を深めるもの、いわば求心力のある家具づくりを目指しました。私たちの生活を後ろで何気なくサポートし

OLDグループ (大川ライフデザイン研究所)



商品名 / Life-D

てくれる新鮮な空気のようなものを提供したかったのです。」と語る。

確かに「LIFE-D」は、食事だけでなく食後の団欒も長時間過ごせるようにフレキシブルに対応する。天板は三つのパーツで成り立っており中央部が交換可能になっている。収納できる飾り箱にもなり、鍋用のコンロを置いたり、四季折々の花を飾ったり、テーブルの中央に求心力ある場を演出している。

異分野とのコラボレーションという新しい試みであるがゆえに、お互いの調和を図るため努力も求められた。阿津坂さんは言う。「協働体制のなかで、ソフトデザインから家具を企画・開発し、製品に結びつけるために二年間を費やしました。OLDのメンバーとデザイングループとの話し合いを月に二回、欠かさず続けました。」

そしてこのプロジェクトは県の「中小企業集積活性化事業」の補助金五百万円を受けて立ち上げた。ただ、この他にメンバー十一人で出し合って二百五十万を捻出したという。しかしそれも大賞で報われた形だ。

メンバーはこのコラボレーションに大きな意義を感じているという。阿津坂さんは、「今回の受賞でデザインの重要性が再認識されたのではないでしょう。か。一歩踏み出せば、斬新な製品造りができることの証明になったと思います。」

「鐘ヶ江さんも、「今はまさに消費者のニーズが多様化している時代。これらに因應する魅力ある製品造りため、資材、メーカ販売、デザイナーグループ、などいろいろな人たちとのネットワークが必要だと思っています。そうした中でこそ、わたしたちも真の実力を発揮できると思いますね。そういう意味で大川家具の新しい切り口を開いたのではないか、と思います。」という。

OLDでは、今後も大川家具の歴史と伝統を現代に生かせる新しいネットワークづくり、そして世界に通用する秀逸なデザインを持つ家具造りに力を注ぐ。

デザイナーグループとの異分野コラボレーションに先鞭をつけたOLD。この画期的なプロジェクトと大賞受賞は、今後の大川家具の新しい可能性に



デザイナーグループ

